

## 事業実施内容

光通信ソリューション BIRD のインド展開をサポートするインド 人材の獲得を目標に現地で活動する人材の採用を行い、インドの大学側と社会貢献型のインターンシッププログラムを構築、ルーラルエリアへ光通信ケーブルを通じて教育や医療、AI ソリューションを提供する体制の強化を目的とする。

(BIRD : Broadband Infrastructure for Rural-Area Digitalization

国際電気通信連合(ITU)で標準化された安価な DIY 光通信ケーブルソリューションで実証済み)

## 事業成果

ニューデリーで、現地Amity University、Manav Rachna University、SRM Universityを訪問し、各大学で約10名規模の教授と意見交換し次に約100名規模の学生を対象に、光通信ソリューション BIRD-Fiber to All(Broadband Infrastructure for Rural Digitalization)の技術内容および社会的意義について講演を行った。その後、聴講した学生を20人程度毎のグループに分けて逐次意見交換や質疑応答など密な議論を行った。(参加学生数: Amity University180名、Manav Rachna University170名、SRM University200名)

これらの活動を通じて、インドの学生が持つ高い学習意欲、日本への敬意、ならびに現地の就職環境の厳しさなどを直接把握することができ、インド人材が日本で就業することの意義について理解を深めることができた。また、日本における人材不足を補完するという観点に加え、インド人材の持つ競争力、スピード感、挑戦意欲が、日本の中小企業の社員に刺激を与え、日本社会全体の国際競争力の向上にも資する可能性があることを認識した。

## 今後の雇用計画

学生との議論を通じて多数の就職願書(各自の所属、経歴、専門性、希望など)を受領し、これらの分析を進めた結果、Solution BIRD の現地展開を支援する人材候補の選抜を進めることができた。これにより、今後の人材採用方針として、まず有望な学生を BIRDエバンジェリスト候補として社会貢献型インターンシップとして現地で活動してもらう仕組みを構築し、その中から将来的な採用につなげてゆきたい。

SRM大学では「Destination India」というスローガンのもと、日本語教育や日本企業への就職を志向する学生の育成に大学として取り組んでいる状況を知り、日本側としてもインド人材の受け入れ体制を整備する必要性を強く認識することとなった。

